

そろそろ新学期が始まる時期。お子さんたちが、宿題におおわらわのお宅も多いのではないのでしょうか？ 親の方も自分たちの昔を思い出しながらも、「早くから計画的にやっていたら良かったのに」と、お子さんを叱っているのかもしれませんが。

昔を振り返ると……

- ・夏休みの始めに集中して宿題を終わらせてしまう。
- ・計画的に毎日少しずつ取り組む。
- ・特に計画も立てずに思いのままに過ごすか、計画通りに事が進まず、最後に焦って取り組む。

と、人それぞれ、さまざまだったような気がします。いずれにせよ、「後の祭り」になる子どもの多いこと……。

夏休みの宿題は、期間と量が決まっているので、立てた計画がうまくいけば終了まで成し遂げることができます。

しかし、私たちの人生はどうでしょうか？

自分の命の長さは誰にも分かりません。自身の願いで計画を立てたとしても、何があるか分かりません。また、自分の周りの近い方も同じです。

ご病気で、お医者さんから「あと何年くらい」「あと数日が山です」と言われても、正確な時間はわかりませんし、少しでも希望を持ちたいことでしょう。ショックで考えられなくなっているかもしれません。自分では認識できなくなっているかもしれません。

また、そう言われて、冷静に計画を変更できる方はそうはいないでしょう。

人生に常なることはない、「無<sup>むじょう</sup>常」です。思い通りにならないのが人生なのです。

そして、思い通りにならない人生を生きる私たちが唯一実感できるのは、この「今」という一瞬です。意思と願いを込めて計画をたてた上で、この一瞬一瞬の「今」を大切に生きて生きる。

人生を通しての「宿題」は、この「一瞬一瞬の今を大切に生きて生きる」ということかもしれません。

## 『 禅のころ - 曹洞宗 - 』

夏休みという期間も人生の大切な一コマです。宿題も、今できることの積み重ねで終わらせることで、清々しい新学期を迎えることができるのではないのでしょうか。

— 終 —